

令和5年12月27日

東部農林水産振興センター出雲農業部

標 題 耕畜連携の推進と農家の安定経営を目指して！斐川町WCS生産協議会設立

(ダイジェスト)

去る12月19日に斐川町WCS生産協議会が設立し、耕種農家を中心とする会員間で、畜産農家が求める良品質な粗飼料生産に取り組むことが宣言されました。



斐川町内では今まで稲WCSを50ha程度栽培していましたが、町内に畜産農家が少なく大半が相対販売のため、稲WCS生産の推進は行っていませんでした。

しかし昨今の輸入粗飼料の高騰により町内外からのWCS需要が高まったことから、今年度の栽培面積は100haに急増。次年度以降も購入要望があること、水田農業の経営安定化のための新たな品目として耕種農家からの作付希望者が増加傾向にあることから、JAを事務局に生産協議会の立ち上げに踏み切りました。

本協議会は耕種農家17戸、うち作業受託を行うコントラクター4戸、特別委員として畜産農家2戸の合計19戸から構成され、初代協議会長には(農)おきすの森脇組合長が選任されました。森脇会長からは、「耕種農家も稲WCSに対する知識を深め、良品質な粗飼料生産に取り組んでいきたい」とのあいさつがありました。



設立総会後は研修会が開催され、稲WCS生産のポイントについて農業技術センター技術普及部から説明を受けました。

耕種農家にとっては稲WCSの状況を聞くことは初めての機会であり、「できた稲を食べさせるのではなく牛のえさとなる稲を生産する」意識改革を促す研修となりました。

今後、専用品種の導入、収量確保、安定した出荷先の選定等問題は山積みですが、農地の有効活用と土地利用型農家の安定経営に寄与するよう、関係機関で連携し支援していきます。